

2004年水俣病関連の動き

年	月	日	新聞社	見出し
2004	10	2	西日本	水俣病4人申請棄却
2004	10	2	熊日	水俣病認定3人再び保留に 審査会答申で鹿児島県
2004	10	2	西日本	海外の公務員、環境学ぶ 水俣市で29日まで JICA研修始まる
2004	10	2	熊日	環境行政で"水俣"、学ぶ アジアの研修生
2004	10	3	北海道	ニッポンを歩こう 水俣市 胎児性患者も語り部 県下の小学5年生 訪問は必修
2004	10	3	北海道	ニッポンを歩こう 水俣市 教訓生かし環境都市へ
2004	10	6	読売	水俣病情報センター 入館10万人突破 開館から3年4か月
2004	10	6	熊日	来館者10万人突破 水俣病情報センター
2004	10	7	朝日	水俣病センター 入館者10万人に 01年6月開館以来
2004	10	8	読売	産廃処分場と埋め立て反対共同声明 水俣病患者3団体
2004	10	8	熊日	八代港沖・大築島周辺の埋め立て事業 水俣病3団体が反対声明
2004	10	8	朝日	水俣病3団体、反対 産廃処分場 国・県に声明送る
2004	10	8	西日本	産廃処分場建設に反対 水俣病患者団体 共同声明を発表
2004	10	8	熊日	水俣病関西訴訟上告審 最高裁 どう判断 行政責任 ㊦「排水規制はできたのか」
2004	10	8	毎日	水俣病48年最後の審判 10・15最高裁判決 ㊦ 国 裏で誤り認める 認定基準「医学的ではない」
2004	10	9	熊日	水俣病関西訴訟上告審 最高裁 どう判断 行政責任 ㊧「食品衛生法は使えたか」
2004	10	9	毎日	水俣病48年最後の審判 10・15最高裁判決 ㊧ 政治的幕引き拒絶 原告団長「死ぬ前に一矢報いたい」
2004	10	9	熊日	水俣病認定申請 県が3人を棄却
2004	10	9	朝日	3人の申請を県が棄却処分 水俣病認定
2004	10	10	熊日	元水俣病問題専門委員長 井形氏の不起訴「相当」と議決 検察審査会
2004	10	9	京都	明日への視座 社会学者 鶴見 和子さん 水俣の回生 能で祈る
2004	10	9	京都	明日への視座 鶴見 和子さん 公害越える住民の内発的力
2004	10	10	熊日	水俣病関西訴訟上告審 最高裁 どう判断 病像論 司法と行政で違う基準
2004	10	10	毎日	水俣病48年最後の審判 10・15最高裁判決 ㊨ 25億円投入 成果ゼロ 学会で日本の研究者「被害者数不
2004	10	11	熊日	水俣病関西訴訟上告審 最高裁 どう判断 除斥期間 提訴の遅れ 救えるか
2004	10	11	熊日	「行政責任 信じ待つ」 水俣病関西訴訟団が判決前会議
2004	10	13	熊日	水俣病関西訴訟上告審 最高裁 どう判断 原告たち「国、県は頭を下げて」
2004	10	13	読売	ミナマタ 関西訴訟が問うもの(上) 足運べぬ郷里の家 苦しみ背負われ解剖の姉
2004	10	14	西日本	水俣病「国の不作為」問う 認定基準も争点 関西訴訟 あす最高裁判決
2004	10	14	読売	ミナマタ 関西訴訟が問うもの(下) 「被害者の魂救う判決を……」 「政治決着」に疑問呈した高裁判決
2004	10	14	熊日	最高裁 関西訴訟あす判決 水俣病の行政責任 初判断
2004	10	14	熊日	能「不知火」の水俣公演 本質とらえる瞬間追う
2004	10	14	熊日	水俣病 国・県の責任は 関西訴訟 あす最高裁判決 原因認識した時期 焦点 淡路剛久・立教大教授(民法・環境法)に聞く 説得力欠く行政の主張 政治決着で大半が和解 母の無念晴らす「もう一つの裁判」 認定棄却取り消し 水俣市男性求める 県の医療機関調査、死亡から17年後
2004	10	14	熊日	水俣病の苦悩 詩で伝える「残照不知火」を出版 水俣高校教諭の吉津さん「知らないということ 怖い」
2004	10	15	読売	関西水俣病訴訟 国、県の責任に焦点 きょう最高裁判決 患者認定基準も
2004	10	15	熊日	きょうの歴史 2001(平成13)年 水俣市で第6回「地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会議」=水俣水銀国際会議=開幕。アジア地域で初開催
2004	10	15	毎日	(人) 岩本章さん 水俣病関西訴訟の原告団副団長 「水俣出身」で職就けず 国が謝るまでは死ぬん
2004	10	15	西日本	水俣病きょう最高裁判決 50年余「国、県は苦しみに報いて」 帰郷の原告 審判注視
2004	10	15	毎日	行政責任 どう判断 水俣病関西訴訟 きょう最高裁判決 高裁判断見直しか
2004	10	15	朝日	マグロ通じ汚染警鐘 水俣市助役 滝沢さん 公衆衛生の研究一冊に
2004	10	16	熊日	水俣病 国、県に責任 関西訴訟 原告側が勝訴 最高裁 初判断 規制怠り被害拡大 未認定37人に7150万円賠償
2004	10	16	熊日	水俣病関西訴訟 最高裁判決 認定基準見直し否定 環境省 県は「認定業務に影響も」 かたくな姿勢貫く 環境省 国と早急に対応協議 潮谷知事 政府解決策妥当だった 田中、園田氏 今も続(認定申請 本年度は10人
2004	10	16	熊日	関西訴訟最高裁判決を読んで 志学館大学法学部教授 富樫 貞夫 明快に断じた国、県の責任 病像など検討要す課題なお
2004	10	16	熊日	歓声……やがて涙 水俣病関西訴訟上告審で国・県に責任 元気な体には戻れぬ 「生活変わらない」 県内原告 冷静な受け止めも
2004	10	16	熊日	水俣病関西訴訟 最高裁判決の要旨
2004	10	16	熊日	「終わりはまだ」 「これからも闘う」 笑顔の中新たな意欲 原告団長 川上敏行さん 胎児性患者の坂本さんら 傍聴 環境省に怒り
2004	10	16	熊日	「よく頑張ってくれた」 水俣市の関係者ら行政へ注文相次ぐ 和解に応じた全国連が会見 判決に思い複雑

2004	10	16	熊日	関係者談話 患者さんの心の傷 癒して 作家・石牟礼道子さん 被害実態見直し 原田正純・熊本学園大教授 真のもやい直しを 吉井正澄・前水俣市長 国は迅速な対応を 宇井純・沖縄大教授 患者救済見直し 宮本憲一・大阪市立大名誉教授 説得力ある判断 淡路剛久・立教大教授 研究者の検証必要 津田敏秀・岡山大医学部講師 健康診断やり直し 二宮正・熊本大大学院医学薬学研究部助手 厳粛に受け止める 井形昭弘・元中公審水俣病問題専門委員長 非常に評価する 1976年から77年にかけて環境庁長官(当時)を努めた石原新太郎 東京都知事
2004	10	16	熊日	社説 問い直される「公害の原点」水俣病関西訴訟
2004	10	16	熊日	水俣病関西訴訟上告審判決「被害の緊急性」重視
2004	10	16	朝日	魚類の水銀調査 水俣湾で県実施 年度内に結果公表
2004	10	16	朝日	天声人語
2004	10	16	朝日	水俣病関西訴訟 最高裁判決 半世紀 つかんだ喜び 入院のベッド不自由な手で拍手 89歳「本当に良かった」 誇りのもてる裁判 原告団長会見で 原田正純・熊本学園大教授 国・県、真摯に考えて
2004	10	16	朝日	関西訴訟 最高裁判決 水俣病 国・県の責任確定 60年以降、規制せず違法 37人に7150万円賠償命令 未認定110人提訴へ 鹿児島・出水の会
2004	10	16	朝日	救済・再生 水俣道半ば 環境都市を宣言/「差別」との取り組み今も 体験語る席に吉報 「原告に心から敬意」全国連幹事長 国に支援拡充要求へ
2004	10	16	朝日	水俣病関西訴訟最高裁判決 「若い人に語り継ぐ」原告支援者ら安堵「行政は責任ある対応を」 知事一問一答「賠償、速やかに履行」
2004	10	16	朝日	水俣病関西訴訟 最高裁判決理由(要旨)
2004	10	16	朝日	水俣病救済 国、基準緩和に否定的 未認定1万人 謝罪と姿勢裏腹
2004	10	16	朝日	社説 水俣病判決 国の怠慢が裁かれた
2004	10	16	読売	関西訴訟 最高裁判決 水俣病 国、県に責任 原告の勝訴確定 37人に賠償 排水放置は違法
2004	10	16	読売	水俣病最高裁判決 救済遅れ 国に責任 高度成長期「産業優先」を指弾 国の認定基準 医学調査不十分
2004	10	16	読売	水俣病関西訴訟 患者、全身で喜び 被害者運動 川本さん妻 遺影に「勝ったよ」 訴訟参加 周囲に明かせず 帰郷の女性「ニセ患者」中傷恐れ
2004	10	16	読売	行政の不作為 違法と断定 富樫貞夫・志学館大法学部教授 判決、今後に生かして 責任が明確に/全容解明まだ 環境相が謝罪
2004	10	16	読売	水俣病 国の認定基準緩和なら患者大幅増 血の通った行政に判決反映を
2004	10	16	読売	関西水俣病訴訟 水俣も判決高く評価 「行政は基準見直し」の声 どこで間違ったか検証を 江口市長「風化させない」
2004	10	16	読売	社説 水俣病判決 半世紀を要した行政責任の認定
2004	10	16	毎日	水俣病関西訴訟 半世紀の闘い結実 「奇病」「にせ患者」耐え抜き 原告ら笑顔と涙
2004	10	16	毎日	関西訴訟 最高裁が認定 水俣病 行政責任が確定 「規制怠り被害拡大」国の認定基準も否定
2004	10	16	毎日	勝訴にも「まだこれから」苦悩の手で父親を解剖 熊本の松本医師
2004	10	16	毎日	水俣病関西訴訟 原告勝訴 「切捨て」認定基準崩壊 最高裁「一症状で患者」見直し迫られる環境省 割れた司法判断に決着
2004	10	16	毎日	社説 水俣病最高裁判決 行政の不作為もう許されない
2004	10	16	毎日	「権限不行使」を断罪 健康への危険 高い注意義務課す
2004	10	16	西日本	水俣病関西訴訟判決要旨 国は59年末には措置とれた/8人には違法性なし
2004	10	16	西日本	水俣病 国・県に責任 「規制遅れ被害拡大」関西訴訟 最高裁が初判断 患者37人勝訴確定 全被害者の救済急務
2004	10	16	西日本	遅すぎた司法決着 「心一つ」全面支援 95年政治解決 患者に深い傷も 心身支えた"命綱" 阪南中央病院 作家 石牟礼道子さん 行政は逃げ回っていた
2004	10	16	西日本	国敗訴 水俣病関西訴訟 最高裁判決 (上) 政治解決になお固執 行政「方針かわらず」メンツこだわり 釈明に終始 01年度から認定なし
2004	10	16	西日本	水俣病関西訴訟 闘い半世紀 やっと光 喜びに沸く被害者「認定基準 早く改めて」「本当の解決 これから」遺影に「かったよ」故川本さん妻 語り続ける決意も
2004	10	16	西日本	法律論との間で苦悩 政治解決に携わった政治家ら「誠意もち和解推進」 国の水俣病問題専門委員を務めた 浅野 直人氏 不手際認めて政治決着
2004	10	16	西日本	水俣病関西訴訟 原告勝訴 事実の重みに応えた 国の責任問い続けた 富樫貞夫氏 判決は異例の丁寧さ 53年 初の患者発生 食品衛生法適用は見送り
2004	10	16	西日本	二重基準 見直し迫る 患者像 広く解釈 再申請、新たな訴訟も 原告ら環境省への怒り噴出
2004	10	16	西日本	社説 水俣病訴訟 最高裁判決に思う 被害を再調査し広く救済を
2004	10	16	西日本	水俣病関西訴訟最高裁判決 「長い間よう頑張った」「対立、確執乗り越えて」地元・水俣市 関係者、安どの表情
2004	10	16	西日本	春秋
2004	10	16	西日本	新作能「不知火」東京でも上演
2004	10	17	熊日	最高裁は問う 水俣病関西訴訟判決(上) メンツ固執・・・変わらぬ行政 「新たな対策 考えていない」
2004	10	17	熊日	水俣病出水の会 国など提訴検討 損害賠償請求 未認定の110人規模
2004	10	17	熊日	水俣病認定基準 環境省中心に見直し検討を 細田長官が意向
2004	10	17	毎日	余禄
2004	10	17	毎日	水俣病認定基準 柔軟対応求める 官房長官、環境省に

2004	10	17	毎日	水俣病 出水周辺の未認定110人 国などを賠償提訴へ
2004	10	17	読売	水俣病 未認定110人提訴へ 出水の団体 国などに賠償請求
2004	10	17	西日本	国敗訴 水俣病関西訴訟 最高裁判決 (中) 複雑な胸中の患者も
2004	10	17	西日本	認定基準見直し検討 水俣病で官房長官
2004	10	17	西日本	水俣病出水の会 未認定患者110人提訴へ 来春にも 最高裁判決を受け
2004	10	17	朝日	熊本県 認定業務の対応苦慮 水俣病基準「国と協議」
2004	10	17	朝日	水俣病患者の認定基準 官房長官「見直し検討も」
2004	10	18	毎日	水俣病認定 再申請へ 津奈木町の患者ら 最高裁判決受け
2004	10	18	熊日	最高裁は問う 水俣病関西訴訟判決 (中) 法は国民の命守る 行政のあるべき姿示す 踏み込んだ判断
2004	10	18	熊日	水俣病認定 集団申請へ 関西訴訟判決受け 水俣・芦北の約20人
2004	10	18	西日本	水俣病関西訴訟 最高裁判決受け 熊本の開業医 未認定患者に対し再申請を呼び掛け
2004	10	18	西日本	国敗訴 水俣病関西訴訟 最高裁判決 (下) 新たな不作為許すな
2004	10	19	熊日	国の姿勢変わらず 水俣病認定基準 見直し再び否定 首相は「誠意必要」
2004	10	19	熊日	国に要請書提出へ 水俣病互助会「全被害者への判決」
2004	10	19	熊日	最高裁は問う 水俣病関西訴訟判決 (中) 揺らぐ認定基準 新たな紛争状態も
2004	10	19	熊日	読者のひろば 意義が大きい行政責任認定 鈴田 渉 34 = 大学院生 (福岡県)
2004	10	19	西日本	「国は被害者に謝罪を」 水俣病互助会 緊急報告集会で要望
2004	10	19	西日本	国、基準見直さず 水俣病認定 環境相ら再否定
2004	10	19	朝日	水俣病関係者 判決踏まえ集会 要望まとめ国・県交渉へ
2004	10	19	朝日	水俣病認定 集団申請を検討 熊本
2004	10	19	毎日	「水俣病の認定基準 変更しない」 細田長官 発言訂正相次ぐ
2004	10	19	毎日	水俣病認定「基準見直しを協議」熊本知事 国に申し入れへ
2004	10	19	読売	水俣病の認定基準など見直し要求へ 国、県に支援者ら
2004	10	19	読売	水俣病認定再申請へ 熊本の20人「出水の会」110人も準備 認定基準見直し 環境省、改めて否定
2004	10	20	朝日	関西訴訟原告「認定基準見直しを」熊本県知事へ申し入れ
2004	10	20	朝日	「何のための裁判か」水俣病関西訴訟原告団 認定基準の見直し要請 県「判断難しい」
2004	10	20	熊日	潮谷知事「心からおわび」水俣病関西訴訟原告ら初交渉 認定業務 国と協議へ
2004	10	20	熊日	関西訴訟原告・弁護団と潮谷知事 (主なりとり) 加害者責任 十分に認識している 知事 判断基準 県が積極的見直しを 訴訟団
2004	10	20	熊日	水俣病関西訴訟原告ら 県と交渉「苦しみ 分かるはず」変わらぬ姿勢に憤り
2004	10	20	毎日	水俣病関西訴訟原告団 積年の思いぶつける 知事との面会で不満や怒り 国や県に患者の現状や未認定問題など要望へ 水俣病互助会 「判決聞かせたかった」故川本さんの妻ミヤ子さん 原告弁護団報告集会
2004	10	20	西日本	水俣病認定問題 国と基準見直し協議へ 熊本県知事、原告団に謝罪
2004	10	20	西日本	「患者の気持ち分かるのか」水俣病関西訴訟原告団 慎重な県にいらだち
2004	10	20	読売	水俣病認定 国との協議 前向きに 熊本知事 関西原告団と面会
2004	10	20	読売	関西水俣病訴訟原告ら「本当の全面解決を」 県内被害者ら固い握手「これからも」
2004	10	21	西日本	国、見直し検討も否定「水俣病と有機水銀中毒は別」認定基準の正当性強調
2004	10	22	熊日	新生面
2004	10	22	熊日	取材前線 当事者としての責任の取り方 亀井 宏二 (報道部)
2004	10	22	熊日	民主 水俣病チーム設置へ 関西訴訟判決受け 未認定問題など対応
2004	10	23	朝日	記者メール
2004	10	23	西日本	水俣病現場に研究拠点 “公害の原点” 風化させない 熊本学園大 民間初、開設へ 聞き取りや市民講座
2004	10	23	西日本	社説 国はどこまで頑迷なのか 水俣病認定基準
2004	10	24	朝日	水俣に水俣学拠点 熊本学園大来春に設置
2004	10	24	熊日	水俣病関西訴訟最高裁判決に思う 元衆院議員 馬場 昇 完全解決へ向けた出発点 教訓を環境保全に生
2004	10	26	熊日	核心評論 水俣病の患者認定 関西訴訟で最高裁が「是正勧告」 国、県は基準見直し
2004	10	26	熊日	水俣病関西訴訟 最高裁判決出たが・・・行政「責任」どう果たす？ 不十分な医療補償/胎児性患者に不安
2004	10	26	毎日	水俣病認定基準 環境省は整理を 鹿児島知事が苦言
2004	10	26	熊日	水俣病 130人集団認定申請へ「出水の会」関西訴訟判決確定で 「二重基準 国整理を」水俣病認定で鹿児島県知事
2004	10	27	読売	水俣病認定基準 熊本県知事が「疑念」「関西訴訟」最高裁判決で
2004	10	27	西日本	水俣病 130人 認定申請へ 鹿児島県の未認定患者ら
2004	10	27	熊日	水俣病認定「現行業務 続行に疑念」 潮谷知事 関西訴訟判決受け
2004	10	27	毎日	水俣病認定 出水130人も申請へ 賠償提訴は結果次第 水俣病認定審査凍結も 国と司法二重基準 熊本知事、板ばさみ
2004	10	27	朝日	水俣病認定 130人申請へ 出水の会
2004	10	27	西日本	潮谷・熊本知事 水俣病認定 凍結も「二重基準 判断できぬ」
2004	10	27	朝日	水俣病認定に「二重基準」 国に見直し迫る司法 環境省、判決後も消極的 元熊本大医学部助教授 原田 正純さんに聞く 実態解明へ再検証必要
2004	10	27	熊日	行政 水俣病認定“二重基準” 司法「見直さぬ」環境省は強硬 責任確定の県に重い課題 「行政は患者と向き合うべき」 幸山熊本市長
2004	10	29	熊日	県に水俣病認定申請 最高裁判決後初 水俣の70歳代女性

2004	10	29	毎日	6人が水俣病認定申請 熊本
2004	10	29	西日本	水俣病 熊本の5人認定申請 鹿児島含めなお180人検討
2004	10	29	読売	「水俣病に国は新たな対応を」水俣市長が会見
2004	10	30	朝日	水俣病の申請5人分を受理 熊本県
2004	10	30	朝日	議会委に行政責任報告 水俣病関西訴訟判決 県「課題検討したい」
2004	10	30	西日本	水俣病認定 政治決着者が申請 国「合意に違反」療養費返還など検討 熊本県は受理方針
2004	10	30	熊日	きょうの歴史 1995(平成7)年 全国連が水俣病未認定被害者救済の最終解決策受諾を環境庁に回答
2004	10	30	熊日	水俣病関西訴訟判決後に8件 相次ぐ認定申請 政府解決策対象者らも 津奈木町の女性5人申請 「認定業務の返上も」県議会厚生委見直しさぬ国を批判 「知事の考え聞きたい」水俣病認定業務継続疑念発信受け 小池環境相
2004	10	30	西日本	「業務返上の姿勢で」水俣病認定見直し 県議会厚生委が注文
2004	10	30	読売	水俣病 国と司法 分かれる認定基準 県、議会委で「大変苦悩」 委員から国批判の声も
2004	10	30	読売	熊本の女性5人水俣病認定申請
2004	10	30	毎日	「国に県の苦悩伝える」水俣病関西訴訟最高裁判決 県、今後の対応を説明
2004	10	31	朝日	水俣病認定、2人が申請 鹿児島県へ関西訴訟後初
2004	10	31	西日本	水俣病教訓に食育を 水俣・芦北農漁業者ら スローフード協会設立へ
2004	10	31	熊日	水俣病関西訴訟最高裁判決から2週間 賠償金、既にチッソ全額支払 どうなる国、県の負担分
2004	10	31	毎日	関西訴訟後初の水俣病認定 政治決着の女性も申請 熊本
2004	10	31	毎日	出水の男女2人水俣病認定申請 最高裁判決後鹿児島県で初
2004	10	31	熊日	水俣病の問題みんなで考えて 熊本大医学部生ら学園祭でパネル展